

第8回日展

第1科（日本画） 特選授賞理由

題名

初夏の色

授賞理由

蓮池に映り込む情景を、明快な色彩と構成で描き、画面の中にさわやかな風や空気を感じる事ができ、観る人の心を揺り動かす品格のある良い作品に仕上がっています。

作者名

青野圭花

題名

斜影

授賞理由

丁寧な仕事である。きれいな光と影が美しい高架下の一瞬の情景。斜影と題した、現在の不安の中にも、静かな確かさを持って生きようとする、作者の心が投影された秀作である。

作者名

棚町宜弘

天空の森へ

授賞理由

日々の写生や観察を続ける眼差しを持ち続け、作者独特の作風を作り上げた。森の生態系に基づき、画面の中で工夫を凝らし、風景というより、森全体に宿る生命の塊を丁寧な仕事により表現した作品となった。

猪熊佳子

回帰

授賞理由

ベニコンゴウインコが、自由に羽ばたき目的地に辿り着く、ほんの一瞬、力強く跳ね上がる躍動感を捉えた作品です。背景の植物は、まるで花火のようで命の瞬きをも感じさせます。写生重視の姿勢を守る秀作です。

福岡正臣

ひととき

授賞理由

手を伸ばせば届くような日常。愛情のある日々を積み重ねるイメージ。想起される主題は、人が生活を営む限り永遠である。重みのある色彩によって創出された有機的な触感、温もり。豊かな画面構築が高く評価された。

小熊香奈子

道なき時代

授賞理由

森の道であろうか。何気ない風景を外連味なく描いている。あえて抑えた色彩と白い形態の組み合わせが、画面に凜とした緊張感を与えている。作者の鋭い感性が感じられる秀作である。

前川和之

白日

授賞理由

都会の街並みを直線の集約で表現した作品です。作者独特の作風で複雑な建物群を線の組み合わせとシンプルな色彩でまとめ、現在都会風景がよく描き出された作品に仕上がっています。

笠川武史

地球(ほし)クズ集め

授賞理由

俯瞰的構図と大胆な線の運びが目を引く。港の工事材料現場を「地球(ほし)クズ」と洒落てみせた。この洒脱が現場を絵画形象に変えた。変化に富む建物に適宜青を配し、手前から遠景への滑らかな視線の移行が事の外、快い。

村山春菜

Aluhi 8:49

授賞理由

色遣いが美しい。今回の出品者の中で淡いソフトで人物の入った作品はこの一点大変際立っていた。その人物を囲むように、鹿、蝶、うさぎ、花々が配されデイドリームのようなようです。丁寧な制作は会場で人々に癒しを与えてくれることでしょう。

榎原孔美子

月山弥陀ヶ原

授賞理由

作者が自然と対話することにより、心の眼を通してその神秘を象徴的に捉えようとしている。それは東洋の山水画にも通じ、高い精神性へと結びつけようとする深い身体性を感じる作品である。

山田まほ